



つくし保育園



ちゅうりっぷ保育園

～第51回 全国保育団体合同研究集会へ行ってきました～

暑い暑い名古屋の夏に行われた合研へ行ってきました。前回は何年前だったかな、と思うほど、久しぶりの合研です。今回は「よりよい保育と園長の役割」という分科会の世話人という形での参加でした。「世話人を」という依頼に簡単に「いいですよ」と言ってしまった自分に、驚き、「待てよ、私で良いのか」と反省しきりの中で、「まあ、構えず、自分も参加者としていっしょに学ぼう」と気持ちを切り替えての参加でした。

公立も民間も企業立も、どこの園長も膨大な事務量と職員集団をどうまとめていくのか、よりよい保育をどうつくっていくのか、と悩みながら日々を送っていることがわかりました。

その中で、園長は、何よりも、職員ひとりひとりを大切にすること。支え合っていく仲間であり、職員を信頼すること。が、よりよい保育につながっていくのだ、と確認しあいました。そして、園長自身がいきいきと楽しく働くことが大切だ、とも。

さて、私はどうだろう。よりよい職員集団があつてこそ、良い保育が行える。保育は、園長が作るのではなく、職員みんなで作り上げていくもの、そのことを肝に銘じて(今までを反省して)、より良い職員集団づくりを行って行こう。日々努力のみ。

また、保育料無償化も大きな問題として取り上げられていました。この無償化は、3歳児～5歳児までと住民税非課税世帯のみ対象で、0歳児～2歳児までは対象になっていません。特に、これまで、保育料に含まれていた、給食の副食費を無償化の対象からはずし、保護者負担にしたことは、これまでの保育の一環としての給食の位置づけをくつがえすことで、保育の在り方の根本が問われるものです。それより先に全国的に問題となっている保育士不足や質の高い保育施設を増やしていかなければ待機児童解消や少子化対策にならないと思います。

～運動会～

昨年は、ちゅうりっぷ保育園とつくし保育園は合同で運動会を行いました。今年から別々に行うことにしました。

運動会は、できる限り、慣れた場所で行うことが、子どもの負担にならないのでは？また、ちゅうりっぷの子どもたちは、0歳児～2歳児までの乳児で小集団で保育しているため、つくし保育園との合同ではいつもの子ども姿が発揮しきれない、との理由からです。

しかし、両園とも運動会当日は、雨…。つくし保育園は、体育館で行うことになりました。それでも、たくさんの家族の応援を受け、一番カッコいい姿をみせることができました。ちゅうりっぷ保育園は、残念なことに中止となりました。

運動会は、子どもたちはの成長・発達をってもらう絶好の機会です。1年ごと、いろいろな運動ができていく我が子を見て、「こんなことができるようになったんだ」と思ったり、「来年は、こんなことができるようになるんだな」と期待を持つ運動会。家族全員で子どもを応援し、笑顔いっぱい姿をみると、本当にうれしくなります。来年の運動会は、秋晴れの中でできることを期待しています。

理事長(つくし保育園園長) 平澤幸子

子育て支援センターつくしんぼ

〔 伊東ショッピングプラザ デュオ 1F 〕

